



Think Automation and beyond...



2022年5月13日

各位

大阪市淀川区西宮原2丁目6番64号
IDEC株式会社
代表取締役会長兼社長
氏名 船木俊之
(コード番号 6652 東証第一部)
問合せ先
責任者役職名 常務執行役員 経営戦略企画担当
氏名 吉見晋一
TEL (06) 6398-2500

新中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2023年3月期から2025年3月期までの3年間を対象とする、新中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

中期経営計画の概要は下記の通りです(詳細につきましては、添付資料をご参照下さい)。

記

前中期経営計画の振り返り、および新中期経営計画の概要

当社では、2023年3月期を最終年度とする中期経営計画を2017年に発表し、フランスのAPEM社買収をはじめとするM&Aや提携の推進、拠点再編、デジタルマーケティング強化など、グローバルでの改革に取り組んでまいりました。

新中期経営計画では、IDECグループの技術や知見を結集し、カスタマーサクセスを実現することを大きなテーマとしております。スローガンとして、「PASSION FOR YOUR SUCCESS」を新たに掲げ、長年培ってきた制御技術をベースに、自動化・無人化・省力化需要や、安全・安心・ウェルビーイング意識の向上をはじめとする注力分野に対応した取り組みを推進することで、社会課題の解決に貢献し、持続的な成長の実現を目指してまいります。

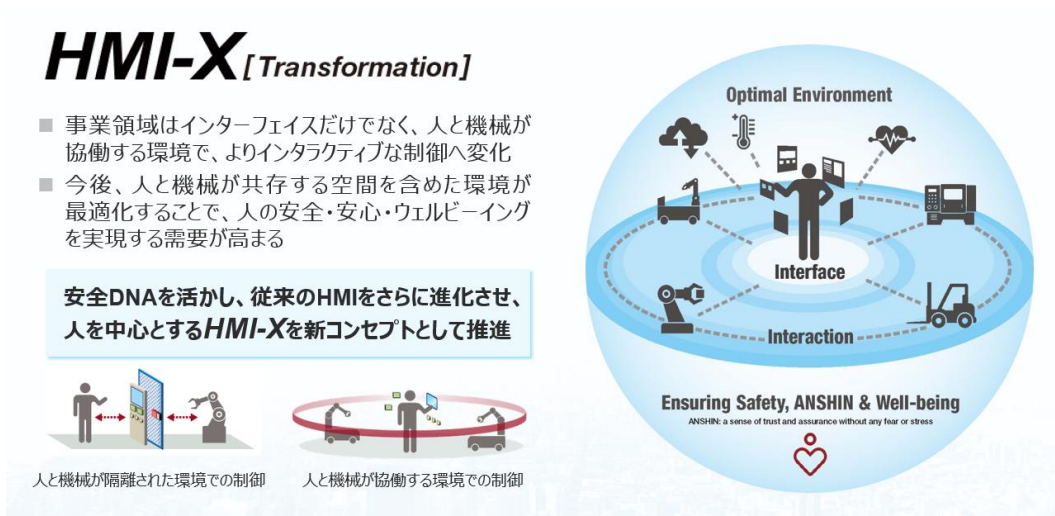
Diagram showing Vision, Mission, Slogan, and 4 Basic Strategies (Growth, Profitability, Operational Base, ESG).

## ■ IDEC グループの新コンセプト「HMI-X」

IDEC は創業当時から、人と機械をつなぐ HMI (Human-Machine Interface) のリーディングカンパニーとして、グローバルに事業を拡大してまいりました。しかし時代の変化に伴い、ものづくりの現場や生活のさまざまなシーンにおいて、制御用操作スイッチやプログラマブル表示器をはじめとする、人と機械の接点となる「Interface」だけでなく、IoT の進展などにより、人と機械、機械と機械などが相互にネットワークでつながる「Interaction」へと事業領域が広がってまいりました。

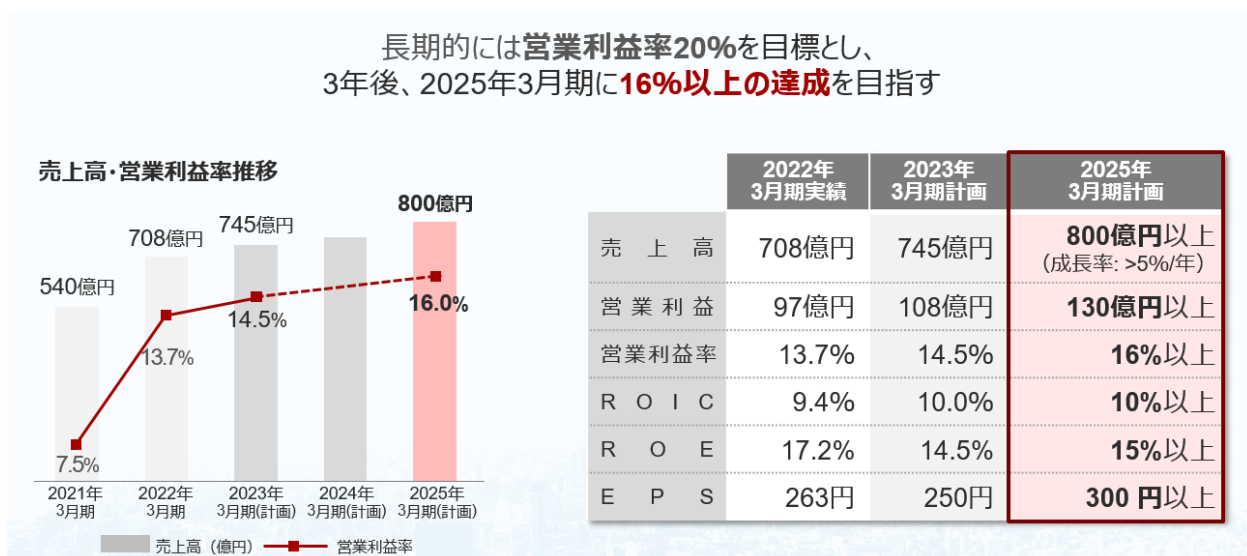
そして今後は、ネットワークでつながった機械装置に加え、人と機械が共存する空間も含めた、環境を最適化 (Optimal Environment) することで、人々の安全・安心・ウェルビーイングを実現するための需要が高まってくるものと考えられます。

こういった背景を踏まえて、これまで培ってきた安全 DNA を活かし、今までの HMI の考え方をさらに進化させた、人を中心とする HMI-X[Transformation] を IDEC グループの新たなコンセプトとして推進してまいります。



## ■ 新中期経営計画の数値目標

長期的には 20% を超える営業利益率を目指しており、2025 年 3 月期に売上高 800 億円以上、営業利益率 16% 以上、ROE 15% 以上の達成を目指してまいります。



## ■ ESG の取り組み

持続可能な社会と企業価値向上の実現に向けて、気候変動対応をはじめとする、サステナビリティ対応の強化を推進しております。

### (環境)

- 気候変動への対応を重要な経営課題として取り組み推進
- 環境対応をより強化するため、2021年環境推進室を新設、常務執行役員を環境担当として任命
- 2021年TCFDへの賛同を表明し、2021年から2022年に、TCFDガイダンスに沿った気候関連リスクと機会のシナリオ分析などを推進開示

### (社会)

- エンゲージメントサーベイ（従業員意識調査）結果から抽出した、人材マネジメントシステムの強化やダイバーシティ&インクルージョンの推進、働き方改革などに対する対策の推進

### (ガバナンス)

- 社外取締役の過半数任用と、スキルマトリックスに基づくさらなる多様性の確保
- 評価結果に基づき、取締役の実効性向上の取り組みを継続することで、安定的・長期的な企業の信頼性と価値向上を推進
- リスクマップに基づく高リスク事象の特定と、定的なリスク低減対策のモニタリング実施



## 低炭素・循環型社会実現への貢献

- 気候変動への対応を重要な経営課題として取り組み推進
- 環境対応をより強化するため、2021年環境推進室を新設、常務執行役員を環境担当として任命
- 2021年TCFDへの賛同を表明し、2021年から2022年に、TCFDガイダンスに沿った気候関連リスクと機会のシナリオ分析などを推進開示

気候変動対応のガバナンス体制

名称	概要	開催回数
取締役会	気候変動に関わる重要事項の監督	※年7回以上
経営会議	気候変動に関わる重要事項の決定	※年8回以上
CSR委員会	気候変動に関わる重要項目の検討、経営会議への上程	年2回
環境マネジメント委員会	気候関連の機会の管理	月1回
リスクマネジメント委員会	気候関連のリスクの管理	年2回
担当役員	環境担当 常務執行役員	
担当部門	経営戦略企画部、環境推進室、経理部、CSR室、人事総務部	

※CSR委員会の上程事項の決定・監督は年2回



関連するSDGs

### 2025年3月期までの中期目標 (2020年3月期ベース)

CO <sub>2</sub> 削減	24%	↓
産業廃棄物削減	24%	↓
環境配慮強化型製品 新製品累計比率	60%以上	↑

### 気候変動に対する2030年の目指す姿

- IDECグループの技術、製品を活用した顧客・社会の環境負荷低減への貢献
- 自社における再生可能エネルギー活用などCO<sub>2</sub>排出量の削減

以上